

# 桃李会報

創刊号

発行者：桃李会  
 住所：〒381-2227  
 長野県長野市川中  
 島町今井原 11-1  
 長野保健医療大学  
 内桃李会事務局  
 E-mail：  
 nrc.dousou@gmail.  
 com  
 ホームページ：  
[http://nrc-dousou.  
 .blogspot.jp/](http://nrc-dousou.blogspot.jp/)  
 Facebook ページ：  
[https://www.face  
 book.com/tourikai](https://www.facebook.com/tourikai)

## 四徳とは、

知恵・勇氣・節制・正義

## 桃李会の由来

桃李もの言わざれども下(した)自ら蹊(みち)を成す・桃や李(すもも)は何も言わないが、花や実を慕って人が多く集まるので、その下には自然に道ができる。徳望のある人のもとへは人が自然に集まることのたとえ。

## 同窓会報創刊に寄せて

長野医療技術専門学校 校長  
 西村博行



このたび同窓会報を創刊するとのこと、大変おめでとうございます。と同時に心より敬意を表します。同窓会報は、言うまでもなく同窓生を中心とした情

報交換の場であり、自分たちの研究発表の場でもあり、楽しい交流の場でもあります。でもその運営は大変のようです。皆で力を合わせて継続、発展させて頂きたいと思えます。

長野医療技術専門学校は2001年4月開校以来、今年4月に十一期生が卒業しました。卒業生の数はPT408名、OT342名でちょうど750名です。長野県内のPT、OTの総数は約3000人とのことから、約25%が当校の卒業生であるということになります。今後ますますその比率は増えてゆくことでしょう。

皆さんの母校は今年4月に長野保健医療大学としてバージョンアップされました。暫くは専門学校と大学が並行して存在しますが、いずれ大学に統合されてゆくことになっていきます。そうした時に同窓会報を創刊するということは、ちょうど良い機会であったと思います。大学化に伴い同窓会の重要性がますます高まる中で会員の積極的な参加を期待します。

## 私はこれまで、卒業式でいつ

も同じことを言ってきました。それは私が学生時代に学んだこと、科学的精神とヒューマニズムを統一しつつ成長することが大切だということです。学生時代は人生如何に生きるべきかという人生の根本問題を問われる時期に当たると思っています。専門学校は入学したらずぐに専門的な勉強に努めざるを得ない状況です。一般大学の教養部のような、言わば遊ぶ時期があまりないのが実情です。学びと遊びが上手く合致していかないと、パランスのとれた人間性が育まれないのではないかと思っています。

当校の卒業生はまじめすぎないか、遊びが足りないのではないか、こんなテーマも同窓会報で取り上げて頂ければ有り難いです。

いずれにしろあらゆるジャンルを含んだ、読んで為になり、面白い同窓会報を、未永く作成して下さることを願って、私の拙い励ましの言葉とさせて頂きます。頑張ってください。

## 同窓会報創刊挨拶

長野医療技術専門学校同窓会  
 第2代会長  
 高橋 秀幸 (第一期卒)



このたび長野医療技術専門学校同窓会桃李会(以下桃李会)同窓会誌創刊号を発刊できますことを、心よりうれしく思っております。

同窓会誌の創刊にあたり同窓の一人としてごあいさつさせていただきます。

多くの会員の皆さまは私が初代同窓会会長だと思われている方かと思いますが、実は私は2代目同窓会会長となります。1期作業療法学科卒の藤森仁さんが初代同窓会会長として、入学式や卒業式などの学校の式典に参加されるなど同窓会の活動を行っていただいております。

私は藤森さんの後をうけ2011年から同窓会会長を務めさせて頂いていただいております。今後も役員・各学科代表の方をはじめ桃李会会員の皆様のご協力を仰

ぎながら同窓会の発展の為微力ながら務めさせて頂きますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

現在では約700名を超える会員の皆様は長野県内のみならず全国でご活躍され、年を追うごとに同窓生の着実な広がりを実感できますことは、非常に喜ばしいことと存じます。ここで、今までの桃李会の活動の流れを振り返ってみたいと思います。

2012年に学校の先生方からの助言もいただき第1回同窓会総会を開催させていただきました。そこから2013年度は同窓会の名前を決める、2014年度は会員名簿の作成や事務局・広報局などの組織作りを最優先実施事項として一年ごとに少しずつではありますが組織作りを行ってまいりました。

さて、皆様もご存知のとおりわが母校は4月から長野保健医療大学として歩み始めました。今後も母校との協力体制のあり方など課題の具体的な検討に順次、着手するとともに桃李会の将来を見据え、皆さまお一人お一人が参加したくなる魅力ある組織作りをめざしていきたいと思っております。

桃李会は何分にも歴史の浅い組織です。しかし、逆に、それだけに柔軟で斬新な態勢作りが可能であろうかと存じます。同窓生の皆様には、どうか母

校とのつながりを大切にしてい  
ただきたいと思えます。皆さま  
一人ひとりが同窓会に積極的  
に興味と関わりを持たれ交流し  
ともに歩み、成長していける組  
織作りである様にと・・・そし  
て役員として仕事をさせていた  
だいている私どもがその礎とも  
なれるものならば、幸いなこと  
でございます。

最後になりましたがこれから  
も桃李会への変わらぬご支援・  
ご協力をお願い申し上げますと  
ともに、併せて皆様のご発展と  
ご健勝を心よりお祈り申し上げ  
まして会誌発刊に寄せるご挨拶  
といたします。

### 平成26年度

#### 桃李会総会報告

平成26年9月27日(土)  
於：ホテルメトロポリタン長野  
会次第

- 一 開会
- 二 会長挨拶
- 三 来賓挨拶
- 四 議長・記録選出
- 五 議事
  - ・平成26年度同窓会事業  
報告・決算報告について
  - ・会則の変更について
  - ・平成27年度同窓会事業  
計画(案)について
- 六 その他
- 七 閉会

#### 【事業報告】 平成26年度までの同窓会事業

- ・総会の開催
  - ・会長の入学式・卒業式への  
出席
  - ・学生同好会全国・北信越大  
会出場の補助
- 平成25年度までの同窓会事業  
・左記をご参照下さい。

#### 平成27年度事業計画(案)

- ・総会の開催
- ・会誌の発行
- ・母校の講演会、研修会開催  
への協力
- ・会長の入学式・卒業式への  
出席
- ・学生同好会全国・北信越大  
会出場の補助

#### 平成25年度までの決算報告

収入総額	7,194,481	(入会金694名、利息等)
支出総額	1,934,211	(総会費、役員旅費、同好会補助等)
差し引き	5,260,270	(次年度へ繰り越し)

※上記支出に今回の総会開催費用は含まれていません。(単位：円)

#### 総会資料 卒業生(同窓会員)の推移

卒業 年度	H16 1期	H17 2期	H18 3期	H19 4期	H20 5期	H21 6期	H23 8期	H22 7期	H24 9期	H25 10期	総計
PT	40	38	38	30	40	37	39	37	32	39	370
OT	40	36	29	38	38	44	28	25	21	25	324
計	80	74	67	68	78	81	67	62	53	64	694

### 平成26年度桃李会総会

#### 記念講演会

講師：  
岩谷力先生

長野保健医療大学学長

元 東北大学大学院医学系研  
究科・医学部教授

元 国立障害者リハビリテー  
ションセンター総長

元 国際医療福祉大学大学院  
副大学院長

テーマ：  
「なぜ大学化なのか」  
——同窓会長と語る——

高橋同窓会長(以下、高)・・・  
岩谷先生、本日はよろしくお願  
い致します。

岩谷先生(以下、岩)・・・こち  
らこそよろしく。

高・・・早速ですが、岩谷先生は  
最初、小児整形外科の分野で働  
いていたと伺ったのですが、な  
ぜその分野で働こうと思ったの  
でしょうか。

岩・・・その話の前提として少し  
だけ私の育った頃の話をすると、  
ベビーブーム(補足・・・1947  
年～49年)があつて日本の人  
口が爆発的に増えていきましたか  
ら、当然医療分野にも大きな変  
化があつた時代でした。今盛ん  
に2025年問題と言われている  
ですが、昭和25年(1950年)  
に生まれた人が2025年に



75歳となり、高齢化社会が進ん  
で行くと言われています(補  
足・・・2025年には高齢者人口  
は約3,500万人に達すると  
推計されている)。そんな中、  
昭和30年代に入って日本では  
ポリオが大流行しました。ポリ  
オは小児に感染することがほと  
んどで多くのこどもが小児麻痺  
となりました。その流れの中で  
小児領域や療育が注目を浴びて  
おり私も整形外科医として関わ  
つていくことになりました。

高・・・では次に、先生の著書の中  
にはリハビリテーションにつ  
いて書かれている本が多くあり  
ます。リハビリテーション黎明  
期から関わってきた中で、先生  
はリハビリテーションについて  
どのようにお考えでしょうか。

岩・・・リハビリテーションとは

本来極めて限定的なものでした。ポリオを例に挙げて話をすれば、まずポリオの感染によって麻痺が生じ機能的な、あるいは能力的な低下が現れます。この低下した状態を元に戻すことが本来のリハビリテーションであり、医学的治療後に残されたものを障害と呼んでいたのです。障害が残って社会へ復帰したその先にあるのはリハビリテーションではなく、リハビリテーションというのは社会復帰の過程にあるものとされていきました。障害者自身も社会復帰を目指し、リハビリテーションから脱出したと考えている方が大勢いるのです。またあるいは、下腿を切断したものはなぜ歩けないのか考えたことがありますか。下腿を切断したものは体重を支えるべきものがないために立てないし当然立てません。ではどうするか。新しく体重を支えるものを与えれば良い。義足というものはこういう障害というものに対して真正面から考えた結果生まれたものであり、そこには低下した状態を元の状態に近づける可能性も生まれ、それがリハビリテーションと呼ばれるものだったのです。以前、長野医療技術専門学校の校長先生をされていた間宮先生は障害を真正面から受け止め、考えることを大切にされていた方でした。皆さんの中には間宮先生の講義を受

けた方もいるでしょう。間宮先生の教えをぜひ大切にしてください。私が専門としている整形外科の分野においては、整形外科領域と運動器のリハビリテーションというものは以前から密接に関係性を持っており線引きしただけで考えることはできません。つまり整形外科が医療として発展することが運動器のリハビリテーションの発展につながっているのです。

高…具体的に臨床におけるリハビリテーションはどのような変化をしてきたのでしょうか。

岩…それまで病院にはマッサージ師の方が多く勤めていてポリオなどで麻痺した足が拘縮しないようマッサージやROMエクササイズをしていました。そういう概念しかなかったのです。しかし、昭和30年代に入ってから戦争の影響もあり労働災害、つまり炭坑事故による脊髄損傷が多くなり、それまで主流だったマッサージだけでは問題が解決されなくなりました。車椅子をどうやって操作するか、麻痺があるものがどうやって身体を動かすのか、ということが学ぶ必要が出てきてアメリカから人を呼び寄せ体勢を整え始めたのです。その後1960年代に基本的な考え方が確立され、そこを創成期として1990年代まで続いていたのですが、2000年代に入ってエビデンスの不

足が問われるようになってきました。そして、先進的な人達が研究に取り組み、様々な分野からの情報を受けて少しずつ変化してきているのです。特に脳卒中に対する考え方は脳神経科学の影響を受けることで大きく進展してきています。

高…では、そのような変化を経て今のセラピストに求められるものは何でしょうか。

岩…私が医者になって以来、社会というものは大きく変化してきました。以前はまったく考えられなかったのですが、iPS細胞の出現によって再生医療分野におけるリハビリテーションというものが現実味を帯びてきています。以前は損傷を負った脊髄には機能が残存しないと考えられていました。しかし、麻痺した足をロボットで動かして筋肉図を取ってみると、歩行と同様の筋活動が観察されました。荷重をかけると筋活動が大きくなり血流が増加することも判明しました。実際に歩けるようにはならないけれども、健康状態を維持するためには有用なことです。褥瘡を防ぎ、筋萎縮を防ぎ、骨萎縮を防ぐ可能性があるのです。今後、更に進歩していく科学を理解し、このような知識を現場に活かせるような人材が必要になってくるでしょう。

また、障害の捉え方もICIDHからICFへと変化してきました。ポリオ患者達はIL運動(※自立生活運動・アメリカを中心に障害者が地域社会で自立した生活を勝ち取る為に起こった運動)において、整形外科医は我々を病院に縛り付け自由を奪った、と表現した。それは整形外科医達が、進行する病気に対して入院・手術・施設療養という繰り返しの中で良かれと思ってきた治療を否定された瞬間であり、時代とともに価値観が変化してきたことを象徴するような出来事でした。現代は医学・社会ともに変動の時代であり、今のセラピストには変容する社会状況を現場に活かし、医学的知見を研究者から患者へと届ける伝達者としての役割が求められているのです。



高…それらの流れが今回の母校の大学化にもつながっているということでしょうか。

岩…そうですね。このような時代の流れにあつて物事の本質に気づき、理解を深めていくためには専門教育だけでは不十分で、一般教養を身に付けることで他の文化を知ることが重要になります。広い視野を持ち、幅広い知識を身につけ、時代の変化に取り残されずに時代をリードしていけるような人材の育成のためには大学化は必要不可欠なのです。加えて、今までに専門学校を卒業した同窓会員とこれから大学を卒業していく同窓会員は連続性のあるひとつの同窓会として大学にとっても重要な組織となつてきます。大学としても、既卒者に対して生涯学習の場を定期的に提供していく方針です。同じことを繰り返すだけではなく、常に知識を吸収することで技術をブラッシュアップしていく必要があるのです。皆さんには同窓会の活動に積極的に関わっていただき母校の発展を共に支えてもらいたいと考えています。

高…岩谷先生、貴重な講演をありがとうございました。

※一部編集の都合で構成を変更しています。

### 平成27年度桃李会総会

#### 開催予定

今年度も例年同様に桃李会総会を開催する予定です。

期日…

平成27年8月22日(土)

場所…

ホテルメトロポリタン長野

開会…

午後3時00分

懇親会…

午後4時30分

詳細は別紙を御覧下さい。ブログ・フェイスブックにも詳細を掲載します。会員の皆様におかれましてはお忙しい中とは存じておりますが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

桃李会役員一同

### 図書館利用について

同窓生および一般の方を対象とした大学図書館の利用がスタートします。詳細は大学ホームページに掲載される予定です。開館時間は平日の午前八時半から午後五時までとなっております。また、今年度より同窓生を対象とした図書の貸出が可能になります。希望者は申込後に発行されるカードが必要となる予定です。こちらも詳細は大学ホームページにて確認して下さい。

### 大学からのお願い

長野保健医療大学では、同窓会員の卒業後活動支援の一環として何ができるか、意見を募集しています。学校施設の利用や教職員との連携など、相談・要望等は同窓会事務局を窓口として受付しています。気軽にお問い合わせ下さい。

### 母校の歩み

- 平成11年 長野医療技術専門学校の設立発起人会開催
- 平成12年 学校法人設置認可申請書を長野県に提出
- 平成13年 学校設立準備室を開設
- 平成13年 学校校舎起工式
- 平成13年 1月 長野医療技術専門学校設置の知事認可
- 平成13年 4月 開校
- 平成14年 初代学校長 間宮典久
- 平成14年 第1期生入学式
- 平成14年 5月 保護者会総会
- 平成14年 6月 (以降毎年開催)

第1回クラスマッチ (以降毎年開催)

10月

第1回学園祭

(桃李祭、以降毎年開催)

平成15年 8月

野球部

専門学校県大会優勝

平成16年 4月

全学年在学となる

平成17年 3月

第1期生卒業式

平成17年 9月

附属リハビリテーションクリニック 開院

平成17年 12月

大学院入学資格認定 (文部科学省告示)

平成22年 4月

学校長 西村博行 就任

平成23年 8月

女子バスケットボール部

平成23年 4月

専門学校全国大会出場

平成24年 3月

十周年記念誌 発刊

平成24年 3月

第1回 同窓会総会

平成24年 11月

野球場部

平成26年 3月

専門学校全国大会出場

平成26年 3月

第10期生卒業式

平成26年 3月

文部科学省へ長野保健医療大学の設置認可申請書を提出

平成27年 2月

第1回生涯学習講座 開講

平成27年 4月

長野保健医療大学 開学

平成27年 4月

初代学長 岩谷 力

11月

野球場部

専門学校全国大会出場

平成26年 3月

第10期生卒業式

平成26年 3月

文部科学省へ長野保健医療大学の設置認可申請書を提出

平成27年 2月

第1回生涯学習講座 開講

平成27年 4月

長野保健医療大学 開学

平成27年 4月

初代学長 岩谷 力

平成27年 4月

第1期生入学式

平成25・26年度

顧問…

北澤俊美 (学校法人四徳学園 理事長)

西村博行 (長野医療技術専門学校 校長)

会長…

高橋秀幸 (飯山赤十字病院)

副会長…

北村永介 (附属クリニック)

荻上健治 (竹重病院)

理事…

母袋聡一 (篠ノ井総合病院)

齋藤靖之 (竹重病院)

尾形美樹 (飯山赤十字病院)

田尻ひとみ (飯山赤十字病院)

監事…

川井美沙 (飯山赤十字病院)

竜野俊介 (飯綱病院)

評議員…

廣川慎吾 (千曲中央病院)

廣川愛 (千曲中央病院)

藤澤拓哉 (長野中央病院)

代表…

小林華 (竹重病院)

深沢晴貴 (上山田病院)

岩須慎弥 (長野中央病院)

小穴早 (附属クリニック)

山本翔 (附属クリニック)

内藤健 (附属クリニック)

福田敬介 (長野保健医療大学)

編集後記

去年から準備していた同窓会報をようやく発行することが出来ました。協力してくれた関係各位には感謝の言葉もありませ

ん。あとは皆様のお手元に届くことをただ楽しみに待つだけです。感想やご意見が頂ければ幸いです。次回の発行は今年の総会後を予定しています。(広報)